

あつぷる通信

特定非営利活動法人すてっぷ・あつぷる

TEL : 090-5764-4428 TEL/FAX : 0553-39-9382

地域子育て支援センターあつぷる
一時預かりあつぷるはうす

2022年度の主な活動とのべ参加人数

1号事業	子育て・親育ち	176名
2号事業	一時預かり	1112名
3号事業	子育て支援拠点	3941名
4号事業	個人の暮らしをサポート	41名
5号事業	子ども放課後事業	703名
6号事業	中高大生インターンシップ	76名
7号事業	各種団体との協働連携	239名
8号事業	女性の心とからだを支援	205名



3月に「あつぷるまるしえ」を3年ぶりに開催できました！

これからも地域と繋がりつつ「必要な時に必要な人に必要な支援を」どのように届けるかを考えていきます。

2022年を振り返って

コロナも大きな波がありその都度対応に追われながらも徐々に出口が見えてきた一年でした。活動も少しずつ通常に戻しながらその先を見据えて新たなニーズを探る年となったように感じています。

いよいよ子ども家庭庁が発足し「異次元の子育て支援」と言われていますが、現場を見ると課題は山積し、コロナ禍で孤独な育児を強いられた親の悲鳴が聞こえてきます。ワンストップで「必要な時に必要な人へ必要な支援を」届けるために、いつでも誰かが気づけるようセーフティネットの役割をする個人や団体と何重にも繋がること求められています。私たちが国の制度を熟知することと、「制度がなければ作ってしまおう」というNPOならではの狭間を埋めていく柔軟な役割との両方に取り組んでいきたいと思ひます。

新しい活動を行っていくためには事前のリサーチや学習が必要となります。この一年は特に理事やスタッフ皆で研修や情報収集にアンテナを高く張り、スキルアップに努めました。また、地域の様々な分野で活動している人たちと積極的にお会いし関係作りにも励みました。新たなスタッフも増えてさらに活動を広げる用意が整ってきたと感じています。安心して子育てできるまちづくりのために、明るい未来を創るために、微力ではありますが今できることに取り組んでいきたいと思ひます。

この地域で、山梨県で、おもしろいことやろうと思ひている人、みんなで繋がりたい人、大歓迎です！！

代表：塚田純子

2023年度のすてっぷ・あつぷる

子育て支援＝母親支援じゃないよね？パパの支援もしなければ片手落ち。育休取得するパパが増えてきた今、ずっと思っていたけれどなかなかチャレンジできなかった週末の開館が2023年度ようやくスタートします。



TOPIC

特集①新事業&イベント紹介

男女共同参画企画①ダブルケアイベント
男女共同参画企画②パンツの教室

特集②2022年事業報告

子育て支援センター&一時預かり 担当者インタビュー
情報発信について

新事業 & イベント紹介

特集①

つながる・めぐる支援の輪・・・周産期から産後へと、そしてこれから親になる青年期へと、世代を超えてつながっていく「助け・助けられる」事業を展開しています。

2023年にスタートする新規事業の紹介

2023年度から甲州市内の子育て支援センターでは、「地域支援」がスタートします。地域全体で子どもの育ち・親の育ちを支援するため、地域に開かれた運営を行う取り組みで、高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携、地域の子育て資源の発掘、必要なお家庭に訪問支援等人々との繋がりを作っていくという活動です。ぜひ様々な分野の方と一緒に「地域で子育て」を盛り上げていければ嬉しいです。

新たに「休日における育児参加促進のための講習会」もスタート。「あっぷっぷ」では第2、4土曜日に父親支援の講習会を計画しています。これまで「子育て支援」に取り残されがちだったパパたちが集まる場を作ります。さらに、支援センターと一時預かりとの連携で「育てにくさ」を感じている親子に寄り添い孤立しない子育てのための支援を検討します。

法人事業としては、地元の農家と連携し働きたい子育て中のママと人手が必要な農家を繋ぐ活動もスタートしました。加えて、一旦終了したキッズダンスの代わりに子ども放課後事業も検討中です。（塚田）

男女共同参画補助金事業① ダブルケアイベント



出典：NHK甲府 NEWSかいドキ

子育てと介護を同時進行で担う状況になる「ダブルケア」。「実際に経験したからこそ、今度は支える側として役に立てたら嬉しいです。」と語る自身もダブルケア経験者の清水が担当者。今年ダブルケアの実態調査アンケートを行い、認知度の低さや、緊急時の対応方法が未整備等の課題も浮き彫りになりました。その概要は5月16日にNHK甲府のニュースにも取り上げられました。

「現実には既存のサービスだけでは乗り越えられないし、同じ立場の人の共感や受容があると精神的に救われます。家族まるごとケア、のような仕組みが理想です。ダブルケアと一口に言っても、その事情は様々。個々に応じた支援が必要になります。」特に、精神的に追い詰められないために「介護関係だけではなく子育て支援機関やママ友とのつながりが強みにもなります。そこをうまく支援したい。」とのこと。ダブルケア当事者は外出が難しくなりがちな一方、事情を明かすことに抵抗感がある人もいる、でも吐き出せる場所が必要と考えて対面に加え、オンラインサロンにも協賛、大切にしています。今後の活躍が期待されます。

男女共同参画補助金事業② パンツの教室



包括的性教育の一環に、明るく！を目指して実施。参加スタッフの感想です。木下「これ話していいの？と思ってきたので、最初はびっくり。とても勉強になりました。学校の授業とのタイミングも合ってたです。」雨宮「こんな低年齢から？と戸惑いましたが、今は折に触れ話しています。反応も良いですね。」

「時代の変化で自分たちの経験は参考にならない」「成長段階や個々の性格に合わせた伝え方、実践的なアドバイスが欲しい」との悩みも。

人権人格に関わる性。自分を守り大切に、次の命につなげていく、試行錯誤は続きます。詳細はブログ公開中です。

こんな時期だからこそ、工夫次第であらたなチャレンジの年に。
これからもっとおもしろいこと、みんないっしょによりたいね！



参加者が過去最多だった高校生インターンシップ、今年の高3はコロナ禍で多くの体験活動が見送られた学年です。この体験が、将来の夢や自己実現に役立ってくれたら嬉しいです。ここ数年の活動で、女子生徒の多くが自分の心と身体について学ぶ機会に恵まれていないことに気づき、将来のライフスタイルへと繋がる、今の自分の身体を知る内容も加えました。今後さらに工夫して伝えていきたいと思います。

また、キッズダンスが講師の事情で本年3月での終了に。講師の杉本さんのコメント「あつという間の10年。大好きなダンスを子どもたちと共に踊る事で充実した時間を過ごせました。幼き頃からダンスでお仕事する事が目標だった私の夢を叶えてくれた一つの場所でもあり、沢山の子どもたちのパワー、キラキラした笑顔から日常では経験できない事も沢山学べました。今、想うのは、やっぱりダンスが大好きだという事です。最後に子どもたちにはダンスを通じて得たものが、これからの挑戦に役立ち夢が叶う事を願っています。」お疲れさまでした！（塚田）

●甲州市地域子育て支援センター あっぷっぷ（甲州市委託事業）



2022年も人数制限、予約制にしていたましたが、沢山の利用者さんが来館して下さいました。相談支援を強化し、利用者さんとの対話の中から困りごとがある場合に少しでもサポートできるようスタッフ内のミーティングも定期的に行いました。

後半から協力して頂ける助産師さんを増やし、相談日も増やしました。来年度からは市内の支援センターと協力し合い、特にプレパパ・プレママから支援センターと繋がるための合同の企画も行う予定です。（相沢）

●一時預かり「あっぷるはうす」（甲州市補助事業）



関係機関との連携が良好だった昨年。一時預かりでは、市の子育て機関による助産師訪問で複数の育児疲れやワンオペ育児が判明し、紹介、利用に至りました。支援センターあっぷっぷでのイベント、自由来館から相談、利用へつながった例も。

また、発達面が気になるお子さんは、入園前に保育園と連携を取りスムーズな移行ができました。今後も各所と連携し適時適切な支援を行ってまいります。（丸田）

●周産期運動プログラム



妊活から産後まで周産期の運動支援を継続して実施しました。マタニティビクスはリピーターさんが多く、少人数での手厚いサポートができました。プレマタニティフィットではカルテを作って経過を見ると、運動プログラムで不定愁訴が減っていくことがわかります。体を動かし、講師との信頼関係が深まる中で、利用者さんが迷いを振り切って自分で一歩前に進んでいく姿は嬉しかったです。（山口）

●情報発信事業



2019年から配信スタートしたLINE@が、今年度からシステムの変更により常設のリッチメニューを設置します。予約ページのアクセスがしやすくなり、会員様に使いやすいページにしていきたいです。お楽しみに！（マークル）



すてっぷ・あっぷる 賛助会員様ご紹介

私たちの活動にご支援を頂き心より感謝申し上げます。
引き続き地域の子育て支援のため多くの賛助会員を募集しています。

▶2022年度

パルシステム山梨 地域社会活動助成金

賛助会員 企業：ヤクルト 個人寄附金：M・I様 H・S様 Y・A様 E・M様

▶2023年度（5月現在）

パルシステム山梨 地域社会活動助成金

賛助会員 企業：ヤクルト、グレープガーデン安全農園

人も地球も健康に



賛助会員申し込み



さまざまな会員特典も！

- ▶最新のニュースレター(会報)のご送付
- ▶会報へのご芳名掲載、会報PRコーナーへの広告掲載
- ▶イベントへのご招待、イベントブースへのご出店
- ▶プロジェクトへのご参画 など

賛助会員お申込方法

右上のQRコードのページよりご確認、必要事項をご記入の上、ご郵送またはFAXにてお申し込みください。
申込書提出に併せて指定口座への賛助会費お振込みをもって、賛助会員手続き完了となります。
入金確認次第、折り返し最新の会報をご送付させていただきます。

LINE@で情報発信中！

＼PCやスマホからラクラク予約！／

毎月のおたよりや、イベント情報などを配信。
毎月のレシピなどのコンテンツも充実しています！
また、あっぷるのオンライン予約も可能です。
皆さんの登録をお待ちしています。



これまでの助成金・補助金活動

パルシステム山梨/山梨福祉財団/独立行政法人福祉医療機構(WAM)/公益財団法人キリン福祉財団/山梨県地域活性化協働事業費補助金/甲州市協働のまちづくり助成事業/(一社)山梨県労働者福祉協議会/ニッセイ財団/男女共同参画補助金



編集後記

「どんなにせつなくても 必ず明日は来る ながいながい坂道登るのはあなた独りじゃない」
さだまささんの「奇跡」の歌詞です。あらためて人と人の繋がり大切さを学んだコロナ禍だったと感じています。

編集委員会：塚田純子（編集長）／マークル裕子（インタビュー・編集）／三森望（デザイン）

電子版もご覧ください！

すてっぷ・あっぷるのHPで
カラー版「あっぷる通信」を掲載中です。
右のQRコードを読み取り、是非ご覧ください。



<https://www.kosodate-oyasodachi-apple.org/>

ご意見お待ちしております

「あっぷる通信」のご意見・ご感想を
スタッフ一同お待ちしております。
右下のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールフォームでご連絡いただくか、下記の連絡先にご連絡ください。



山梨県甲州市勝沼町勝沼756-1 甲州市役所勝沼支所2階
甲州市地域子育て支援施設内
地域子育て支援センターあっぷる

info@kosodate-oyasodachi-apple.org
TEL/FAX 090-5764-4428、0553-39-9382



会計のご案内

HPに収支決済報告がありますので、
ぜひご覧ください。

